

ミルカーの各部の名称と働き

ミルカーはたくさんの部品から構成されており、一見複雑に見えますが、各部分の機能は比較的簡単に理解できます。

1. 真空ポンプ (バキュームポンプ)

ミルキングシステム内の空気を除去し陰圧を作り出します。

2. 真空タンク

(ディストリビューションタンク)

真空ポンプで作られした真空圧を安定させ、各ラインに分岐させ、ゴミや水分 (生乳、洗浄水) を除去する場所です。また、ユニットからの急速なエア流入によって起こる陰圧の変動を緩衝 (安定) させます。

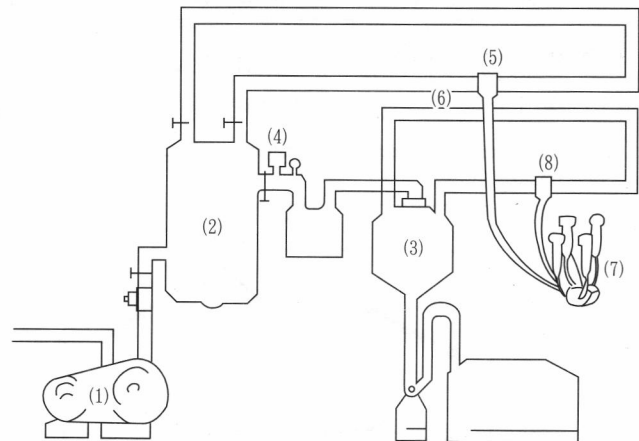
3. レシーバージャーと サニタリートラップ

(1) ミルク配管からの真空と生乳を分離させます。

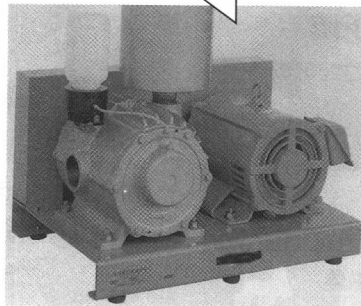
(2) サニタリートラップより先 (真空ポンプ方向) への生乳、洗浄水の流れ込みを防止します。

4. 調圧器 (レギュレーター)

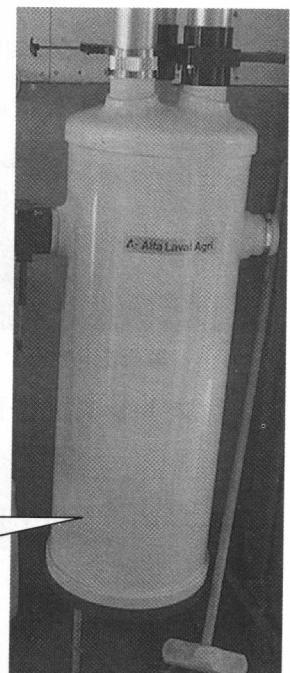
ミルキングシステムの中に流れ込んでくる空気を感知して、システム全体の陰圧のレベルを設定レベルに一定に保持します。



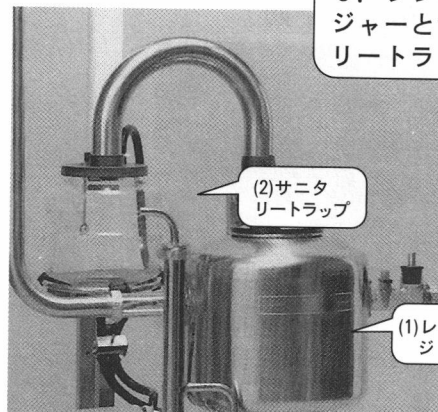
1. 真空ポンプ



2. 真空タンク



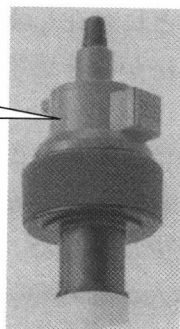
3. レシーバージャーとサニタリートラップ



(2)サニタリートラップ

(1)レシーバージャー

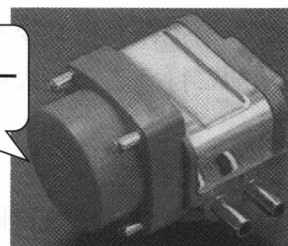
4. 調圧器



5. パルセーター

ライナー外室に陰圧と大気圧を交互に送ってライナーの開閉を行い、搾乳期とマッサージ期を作ります。

5. パルセーター



6. 配管

(1) 主真空配管 (ヘッダーライン)

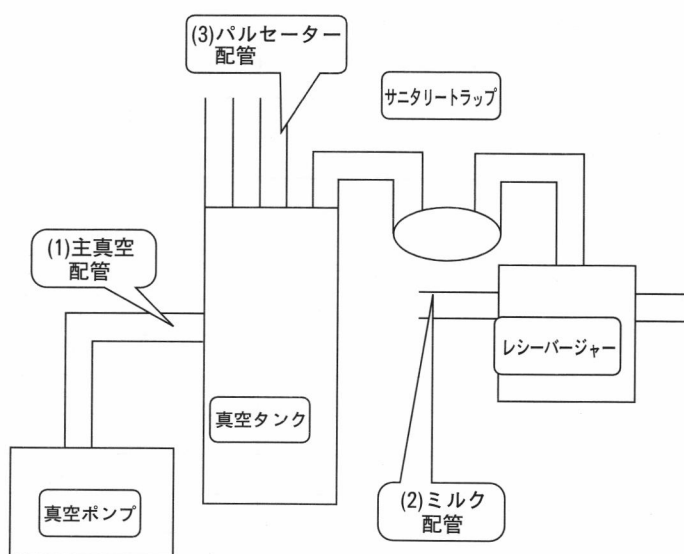
真空ポンプからレシーバージャーまでの配管です。

(2) ミルク配管

搾乳に必要な真空圧の供給と、搾られた生乳をレシーバージャーまで運搬します。

(3) パルセーター配管

パルセーターに必要な陰圧の供給を行います。



7. ユニット

(1) ライナー

ミルカーシステムの中で唯一、乳頭に接する部分です。

(2) ティートカップシェル

ライナーをはめ込み、乳頭が入る内室とパルセーターからの陰圧供給を受ける外室を形成します。

(3) ショートミルクチューブ

陰圧をミルククローからライナーに供給し、搾られた生乳をミルククローに送ります。

(4) ショートエアチューブ

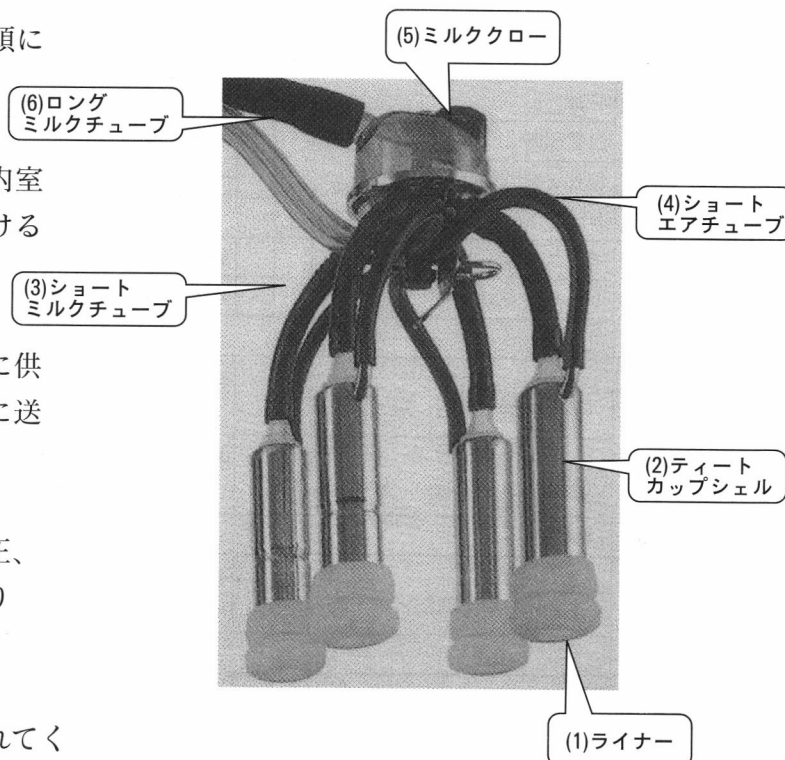
パルセーターから送られてくる陰圧、大気圧をティートカップシェルに送ります。

(5) ミルククロー

ロングミルクチューブから供給されてくる陰圧を各ライナーに送り、各ライナーから搾られた生乳をロングミルクチューブに送り込みます。

(6) ロングミルクチューブ

搾られた生乳をミルククローからミルクラインまで引き上げ、陰圧をミルククローに供給します。



ミルカーの管理